

現状

- これまで増加の一途をたどってきた札幌市の人口は減少局面を迎え、2040年代には高齢者人口がピークとなり、全体の約4割を占めることが予想
- また、障がいのある人にとって地域で暮らしやすいまちであると思う人の割合は約3割で、横ばい傾向
- 市民アンケートの結果からも地域意識の希薄化が明らかになっている
- 今後は、労働力不足に伴う国の外国人材受入拡大により市内で暮らす外国人が増加していくことを予想
- 日本全体で見ると、高齢化先進国であるとともに、世界経済フォーラムが2022年7月に公表した、各国における男女格差を数値化したジェンダーギャップ指数は146か国中で116位と主要先進国で最下位

施策の方向性 ～障壁(バリア)を取り除くとともに、全ての人の利便性向上に向けた取組の推進～

- ◆移動経路・建築物 ～誰もが円滑に移動することができ、快適に利用できる施設等の整備～
 - ◆制度・情報 ～当事者への支援と情報発信の充実～
 - ◆意識 ～心のバリアフリーの浸透と誰もが活躍できる環境の整備～
- ※心のバリアフリー：様々な心身の特性や考え方を持つすべての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合うこと



主な施策

◆移動経路・建築物 ～誰もが円滑に移動することができ、快適に利用できる施設等の整備～

○安全で快適な歩行空間、公園

- バリアフリー基本構想で定めた重点整備地区※1内の生活関連経路※2の道路をバリアフリー化
 - ※1：重点的かつ一体的なバリアフリー化を推進する地区（駅を中心とした地区や公共施設等が集まる地区）
 - ※2：高齢者や障がい者等が日常生活において利用する施設と中心駅等を結ぶ路線等
- 主要15公園※3のトイレ、園路・駐車場をバリアフリー化
 - ※3：モエレ沼公園などの10総合公園、手稲稲積公園などの3運動公園、大通公園などの2特殊公園

○四季を通じて円滑に移動できる交通環境

- 地下鉄駅の全46駅でエレベーター・バリアフリートイレ・ホームドアを設置済みであり、2基目のエレベーター整備を推進
- 地下鉄エレベーターとタクシー・バスの乗継経路に下水熱ヒーティングの導入を検討し、冬季の乗継機能を強化
- ノンステップバスやUDタクシーの導入促進に向けた支援の充実



下水熱ヒーティング整備イメージ

○利用しやすく配慮された建築物

- 中小規模民間公共的施設のバリアフリー改修促進支援の充実や小規模公共的施設の基準を検討
- 宿泊施設のバリアフリー改修（ハード）や従業員研修（ソフト）などへの支援
- 区役所の待合スペース等へのユニバーサルデザインの導入や表示の多言語化
- 既存の市有施設や災害時には避難所の機能も担う学校施設のバリアフリー改修を促進

◆制度・情報 ～当事者への支援と情報発信の充実～

○サービスや制度の充実、コミュニケーションへの支援

子ども	・子どもアシストセンターでの相談対応と子どもの権利侵害からの救済
高齢	・デジタル活用の格差是正に向けた取組の実施
性別	・性的マイノリティに関するパートナーシップ宣誓制度の運用や相談支援 ・社会から孤立し不安や悩みを抱える女性のための相談支援
障がい	・障がい者コミュニケーション条例・札幌市手話言語条例に基づく取組の実施 ・日常生活用具の給付支援や医療的ケア児等とその家族への支援の充実
国籍	・外国人向けの相談窓口の運営 ・やさしい日本語の普及・啓発や行政サービスの翻訳通訳支援の充実 ・日本語習得支援や日本の生活ルールや文化・習慣などの理解促進 ・医療受診コミュニケーション支援の充実
アイヌ民族	・アイヌ民族への生活相談支援 ・アイヌ文化を継承する担い手の育成、交流・継承の機会確保に向けた取組の充実

○災害への対応

- 男女共同参画の視点に立った災害対策や災害時の外国人支援体制の強化
- 災害時における避難行動要支援者に配慮した避難支援

○バリアフリー情報の発信

- 都心部地下ネットワークや乗換経路案内への案内サインの充実化・統一化やエレベーター、バリアフリートイレへの視認性の高いサインの整備
- 地下出入口情報やトイレの位置情報の提供
- バリアフリー経路情報（過去に車いすユーザーが走行したルートなど）の発信検討



エレベーターの視認性向上のための壁面カラー化検討イメージ

◆意識 ～心のバリアフリーの浸透と誰もが活躍できる環境の整備～

○子どもの多様性を尊重した学びの提供

- 文部科学省の「心のバリアフリーノート」を活用した共生社会の実現に必要なことを考える授業の実施
- 子どもたちの国際感覚や異文化への理解を促進する取組の充実
- 可能な限り障がいのある子とない子が共に学ぶことのできる教育環境の整備
- 教員への人権課題（子どもの権利やジェンダー平等、アイヌ民族、多文化共生等）に関する理解促進

○市民や企業等の意識向上

子ども	・市民への子どもの権利の理解や市政等への子どもの参加を促進
性別	・性的マイノリティの理解促進や女性活躍、ワーク・ライフ・バランスの推進に向けた市民・企業への意識啓発の充実 ・DVや性暴力に関する知識や暴力を容認しない社会とするための意識啓発
高齢障がい	・障がいのある人や高齢者の特性や困りごと、手助けや配慮の方法等の意識啓発 ・障がいのある子どもやない子ども、その家族が交流しながら共生社会を学ぶ機会の提供
国籍	・外国人との交流などを通じた多文化共生に対する意識啓発
アイヌ民族	・アイヌ文化交流センターやアイヌ文化を発信する空間「ミナパ」の魅力を高める取組の充実 ・アイヌ民族に関する啓発活動の充実

○自分らしく働ける環境整備や地域活動等への参加促進

- 障がい者雇用の促進や高齢者雇用の促進に向けた取組の充実
- 企業での性的マイノリティやワーク・ライフ・バランスに関する取組推進の強化
- さっぽろ外国人パートナー制度などを通じた、外国人の活躍の場の創出

○スポーツや文化を通じた意識醸成

- パラアスリートによるオンライン授業や障がい者スポーツ体験会の充実
- 誰もがスポーツを楽しめる『障がい者スポーツセンター』の設置検討
- 聴覚障がい者向けの音楽WSや（仮称）ユニバーサルコンサートへの支援



心のバリアフリーガイド